

「(仮称)長浜市未来子ども若者計画」の策定に向けた これまでの取組経過など

R6.9.2 未来創造部未来子ども若者局未来子ども若者課

未来子ども若者会議

※長浜市附属機関設定条例第2条の規定に基づき設置された附属機関・委員15人。

<令和5年度>

第1回 (7月27日)

- ・会長、副会長の選出 (会長…岐阜聖徳学園大学:西川正晃教授 副会長…合同会社LOC0:宮本麻里代表)
- ・第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
- ・令和5年度主要な子ども若者対象事業について
- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定について

第2回 (10月13日)

- ・第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
- ・ブラッシュアップ部会の設置について
- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定に向けたアンケート
- ・ワールドカフェ「30年後の長浜に住む子ども若者の笑顔のために大切なこと」

第3回 (11月24日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画と子ども大綱について
- ・ワークショップ「こどもまんなか社会の主人公を描こう」

第1回ブラッシュアップ部会* (12月20日)

- ・第3回会議のワークショップで描かれた主人公の人物像の掘り下げ・課題等洗い出し

第2回ブラッシュアップ部会 (12月25日)

- ・第1回ブラッシュアップ部会の続き (主人公の人物像の掘り下げ・課題等洗い出し)

第4回 (1月29日)

- ・子ども大綱、アンケート、ブラッシュアップ部会について
- ・ワークショップ「ライフステージごとの大切にしたいことを考えよう」

<令和6年度>

第1回 (6月3日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定スケジュール案
- ・子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果概要(速報)
- ・第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等
- ・ワークショップ『「こども若者の笑顔」をデザインし、『すべての人が幸福に暮らせる』社会の実現のためのコンセプト構文を考えよう』

第2回 (9月2日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の骨組みについて

未来子ども若者政策推進本部会議/幹事会

※子ども若者施策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした会議体。

<令和5年度>

第1回本部会議 (4月19日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定について

第1回幹事会 (6月22日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定について、若手職員によるブラッシュアップ部会設置について

第2回幹事会 (9月12日)

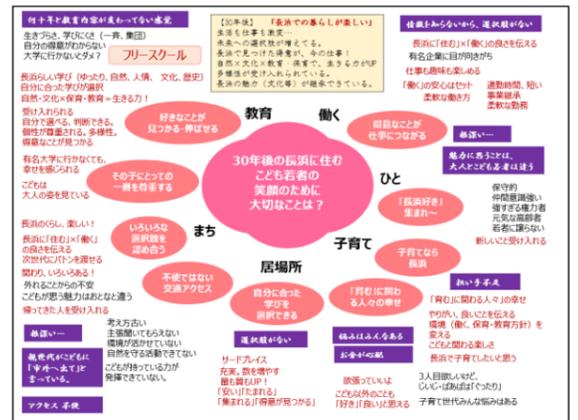
- ・第1回長浜市未来子ども若者会議の概要、「こども若者ボイス」について

第3回幹事会 (1月17日)

- ・子ども大綱、若者実態調査、ブラッシュアップ部会について

第4回幹事会 (2月14日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定について (経過報告)
- ・各部局で考えたい・考えられる「こども若者応援」について

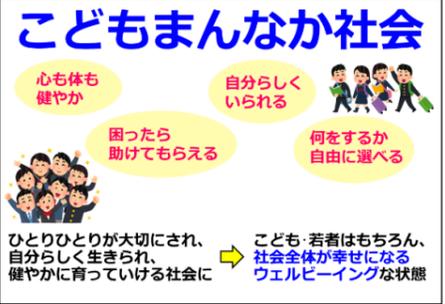


第2回長浜市未来子ども若者会議ワールドカフェまとめ

※「ブラッシュアップ部会」こども若者ボイス等で集まった声や意見等を整理分析することを目的に、一部の委員と庁内若手職員で構成する部会。



ブラッシュアップ部会の様子



こども若者ボイス(中学生トーク)のスライド (抜粋)



未来子ども若者会議の様子

第2回本部会議 (2月21日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定について (経過報告)

<令和6年度>

第1回幹事会 (8月16日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の骨組みについて

第1回本部会議 (8月21日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の骨組みについて

市議会 (総務教育常任委員会)

<令和5年度>

令和6年3月議会 (3月15日)

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定について (経過報告)

<令和6年度>

令和6年9月議会 (9月24日) ※予定

- ・(仮称)長浜市未来子ども若者計画の骨組みについて

こども若者の声を聴く取組

アンケート調査

- 長浜市中高校生調査 (こども若者実態調査/令和5年7月14日~9月11日) 回答数3,027件
- 長浜市若者世代アンケート (令和5年7月20日~9月22日) 回答数785件
- みらい長浜創造アンケート (令和5年7月26日~10月3日) 回答数269件
- 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査 (就学前児童・小学生をもつ保護者調査/令和6年3月6日~3月19日) 回答数1,909件

サードプレイス「itteki」

自宅や学校でもない高校生・大学生限定のサードプレイス (第3の居場所)。「itteki」は、「一滴の水が落ちたら広がる無数の波紋のように、来てくれた高校生や大学生の輪や個性、想いが広がる場所」などの想いが込められている。令和5年7月実証実験開始、10月正式オープン。以降はメイク教室や夏祭りなど、随時イベントを開催。昨年7月からの利用者は7,000人を突破 (令和6年8月)。

こども若者ボイス

※こどもたちの意見を大切にしながら今後の施策等に反映していくためのシカケづくり。

<令和5年度>

中学生トーク (令和5年7月5日、8月3日、8月22日)

- ・「あなたは長浜市長です! 1億円あったら何をします?」をテーマにワークショップを開催し、市長・教育長へ提案。

<令和6年度>

中学生トーク (令和6年7月3日、8月1日、8月8日)

- ・竹生島で夢を書いた「かわらけ投げ体験」
- ・「大人になった自分はどのように笑顔で暮らしている?」をテーマに未来の自分を発表し、長浜市出身のイラストレーターがイラスト化。
- ・「中学生のみなさんが、長浜のことをもっと好きになって、地域を誇りに思い、愛着をもってもらうためには、『どんなもの・どんなこと』があれば嬉しいですか?」をテーマにワークショップを開催し、市長・教育長へ提案。

市ホームページで「長浜市に住むこどもや若者たちの笑顔が増えるためのアイデアや意見」を募集 (令和6年7月20日~8月31日)

高校生トーク (令和6年8月19日)

- ・「ここがヘンだよ! 長浜市」などをテーマに、市に対し感じていることや提案したいことなどの声を聴くイベント。



こども若者ボイス(中学生トーク)の様子



未来子ども若者会議の様子



こども若者ボイス(中学生トーク)の様子



イラストは長浜市出身の中尾仁士さん



(仮称) 長浜市
未来子ども若者計画/骨組み(案)

背景

国「子ども基本法^(R5.4.1 施行)」/「子ども大綱^(R5.12.22 閣議決定)」
/「子ども未来戦略^(R5.12.22)」

* **子ども大綱** > 全ての子ども若者が、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる「**子どもまんなか社会**」の実現を目指す。

子ども基本法において、都道府県/市町村は子ども大綱を勘案し、子ども施策について計画を定めることが努力義務化

県「(仮称)滋賀県子ども基本条例^(R6.11 上程予定)」/「(次期)淡海子ども・若者プラン^(R6 年度策定予定)」

市「(仮称)長浜市未来子ども若者計画^(R6 年度策定予定)」

位置づけ

子ども基本法第 10 条第 2 項の規定に基づいて策定する「市町村子ども計画」

本市では、幅広い子ども若者施策を総合的に推進するため、独自に7つの分野(子ども・子育て/子ども・若者/子どもの貧困/次世代育成/ひとり親/母子保健/放課後プラン)を包括した計画を策定

<計画期間>

令和7(2025)年度~令和11(2029)年度(5か年計画)

現状分析等

* 継続実施・取りまとめ中

- ◆ 母親の就業率: 就学前児童 77%/小学生児童 88%
* 5年間で約10ポイント増加
- ◆ 将来も長浜市に住み続けたい割合: 中学生 39%/高校生 33%
- ◆ 長浜市への親しみや愛着がある: 中学生 74%/高校生 69%

<把握方法>

未来子ども若者会議ワークショップ・ブラッシュアップ部会/子ども若者ボイス(中学生・高校生トーク)/若者実態調査(中学生・高校生・市内若者(18-39歳)・市外転出者(18-39歳))/子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査/全国学力・学習状況調査/市民意識調査/小中学生の生活実態に関するアンケート調査等

ミッション

理念 / 一番大切にしたい考え方

(子ども若者+大人) × **長浜**^{*1} = 未来(笑顔)

= 主役/まんなか = 共に成長する人

子ども若者が大人と一緒に**長浜**^{*1}に関わることで、笑顔の回数が増え、すべての人が幸福な状態で暮らせる未来を実現します。

***1 長浜**

には、地域/企業/人/プロジェクト/イベントなど、本市固有のローカル資源の意味が込められています。

ビジョン

実現したい未来の姿

子ども若者+大人が **笑顔** になる回数が増えている未来

ビジョンを実現するために整える **3** つの**アプローチ**^{*2}

ライフステージ^{*3}および多様な環境や状況に応じて必要な価値を提供する「3つのアプローチ」を整えることで、ビジョンを実現します。それぞれのアプローチに、重点的に進める施策と詳細なプロジェクトが紐づく施策体系を構築します。場合によっては、複数の施策を組み合わせることで効果的なアプローチを構築します。

^{*3} ライフステージ > 妊娠・出産期/乳幼児期/学童期/思春期/青年期/ポスト青年期

***2 アプローチ**

には、特定の課題に取り組むための**道すじ**や**仕組み**のほか、(子ども若者+大人)の行動を促すための**しかけ**等があり、その時の状況や変化に応じて**アップデート**を繰り返していきます。

1

安心して暮らす = 笑顔
あたり前のように
安心して暮らすという**アプローチ**

◆ 何の心配もなく、あたり前のように安心して暮らせる(遊ぶ、学べる、子育てできる等)アプローチを整えます。

* **キーワード(例)**: 包括的サポート/健康・医療/住居/学校/就学前教育/地域/家庭/安全/愛情/精神的安定/子どもの居場所/コミュニティ/環境

2

成長する = 笑顔
チャレンジして
成長するという**アプローチ**

◆ 今の自分が好きな子ども若者が増え、新しい自分にチャレンジできるアプローチを整えます。

* **キーワード(例)**: 自己成長/自己肯定感/自己価値観/学習/スキルアップ/自己表現/創造/チャンス/ポテンシャル/文化/スポーツ/サードプレイス/主体性/柔軟性

3

希望が持てる = 笑顔
未来に向かって
希望が持てるという**アプローチ**

◆ 様々なことに可能性を感じ、自分の夢の実現に向けて行動できるアプローチを整えます。

* **キーワード(例)**: 教育/進学/就職/就業/起業/結婚/妊娠/出産/可能性/契機/期待/選択肢/展望/持続可能/多様性/シビックプライド/DX/イノベーション/交流/企業

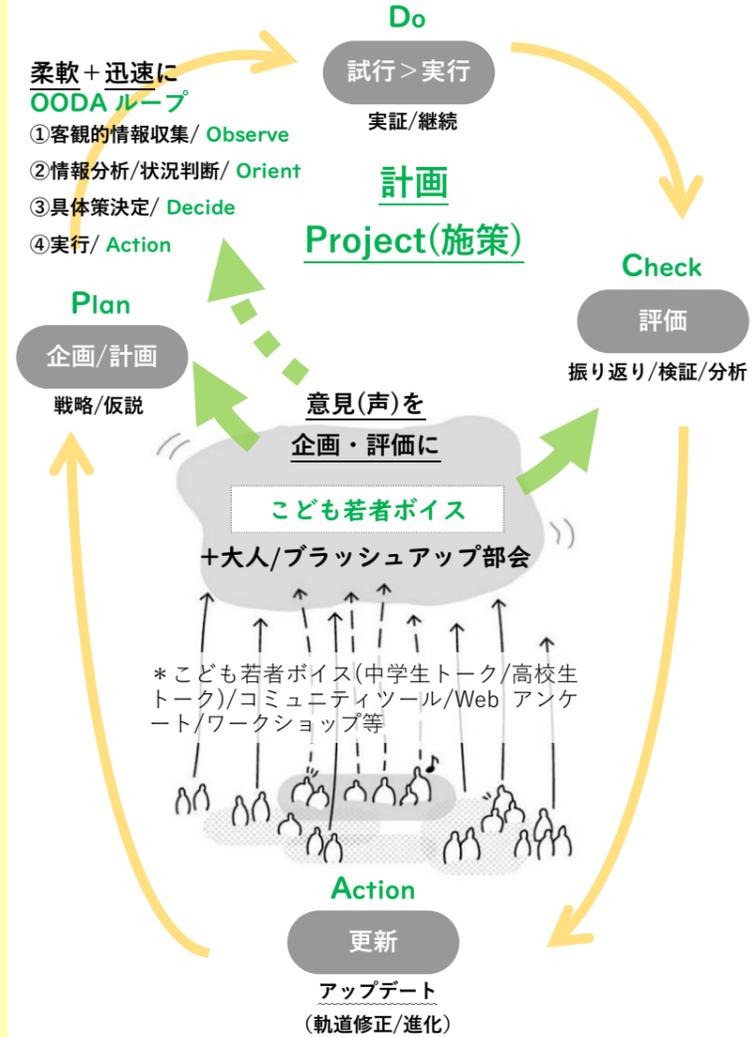
3 つのアプローチに紐づける**施策とプロジェクト**

- 具体的な施策は今後の未来子ども若者会議、推進本部会議等の中で検討・決定(10~12月頃)

推進体制

未来子ども若者会議
未来子ども若者政策推進本部/幹事会

「PDCA サイクル」と「OODA ループ」のハイブリッド



<大切にしたい視点>

- ◆ 子ども若者がプレイヤー(主語)の視点
- ◆ 子ども若者の笑顔の回数を増やすにはという視点
- ◆ 子ども若者と大人が共に進めていくという視点
- ◆ 計画完成後も意見を聴き、アップデートを繰り返していく視点

評価指標 (考え方)

数値等で定量的に把握できる指標に加え、地域社会がどのように変化しているかといった定性的な指標にも重点を置きます。

● 計画全体 >>> 定性的評価

例「子どもまんなか社会の実現に向かっている」/「今の自分が好きだ」/「自分の将来について明るい未来がある」/「自分には自分らしさというものがある」/「どこかに助けってくれる人がいる」/「生活に満足している」等

● 個別施策(事業) >>> 定量的評価